

第 102 期(令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日)
業務報告書 / ミニディスクロージャー誌





ごあいさつ

初夏の候、会員の皆様には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は、にいかわ信用金庫に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
ここに当金庫の第102期(令和6年度)の事業概況と決算状況につきまして、
ご報告申し上げます。

理事長 本多 敏明

【金融経済環境】

当事業年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善のもとで、全体としては緩やかな回復を続けました。企業収益の改善に伴い設備投資は緩やかな増加傾向となり、企業の業況感も良好な水準を維持しました。個人消費は物価上昇の影響などがみられるものの、幅広い地域・業種・企業規模における賃上げの動きもあり底堅く推移しました。

一方、中国経済停滞の影響や昏迷を深める中東・ウクライナ情勢に加え、米国の新政権が世界経済に与える影響等が懸念されるところであり、国際的な政治・経済情勢が景気の下押し圧力となり、不確実性が高い状況となっています。

こうした経済・物価の現状を踏まえ、日本銀行は令和6年3月にマイナス金利を解除し、令和7年1月の金融政策決定会合で政策金利を0.50%に引き上げました。今後も賃金と物価の好循環が続く中で、更なる金利引上げが行われる見通しにあり、企業や家計に与える影響を注視していく必要があります。

このような金融経済環境の下、当金庫の営業基盤である富山県内においては、令和6年能登半島地震の影響は残るものの、復旧・復興需要や北陸新幹線の敦賀延伸効果も見られるなど、地域経済は底堅い動きとなりました。

【業績】

預金積金は、おもに個人預金の減少があり、前期比34億15百万円減少の1,729億78百万円となりました。貸出金は、法人向けが増加したことで前期比4億51百万円増加の655億47百万円となりました。その他、預け金残高は前期比36億19百万円減少の779億89百万円、有価証券残高は有価証券評価損が拡大したことから、前期比9億25百万円減少の285億69百万円となりました。

収支面をみると、経常収益は、資金運用収益等は増加しましたが有価証券売却益が大幅に減少となり、前期比51百万円減少の18億98百万円となりました。経常費用は、預金利息が増加したものの与信関連費用の大幅減少により、前期比1億60百万円減少の16億6百万円となりました。

この結果、経常利益は前期比1億8百万円増加の2億92百万円、当期純利益は2億80百万円となりました。

なお、金融機関の重要指標の一つである自己資本比率につきましては、10.72%と国内基準の4%を十分に確保しているほか、本業の利益を示すコア業務純益は、前期比69百万円増加の3億19百万円となり、健全性は確保しております。

【事業の展望および対処すべき課題】

地域の中小企業を取り巻く経営環境は、高止まりする物価や賃金水準の上昇等を背景として依然厳しい状況にあり、各事業者が抱える経営課題はますます多様化しています。とりわけ、人口減少・少子高齢化の急速な進展のもと、人手不足が地域の中小企業の事業運営に深刻な影響を与えています。

こうした状況を踏まえ、当金庫は、お取引先に対する資金繰り支援と経営課題の解決に向けたソリューション提供に尽力してまいりましたが、このような取組みを不断に継続し、地域社会が抱える課題解決にさらに貢献していく必要があります。

また、経営管理面では、「金利ある世界」の定着から、今後の金利政策の動向を踏まえた金利リスク・市場リスクに係るリスクマネジメントに一層留意するとともに、お取引先の皆様に安心して各種のサービスをご利用いただくため、地政学的リスクの増大等を踏まえたサイバーセキュリティ対策の強化、マネロン・金融犯罪対策の有効性の向上、自然災害リスク対策の強化などに取り組む必要があります。

このほか、令和6年能登半島地震の被災地をはじめとした自然災害への復旧・復興支援にも引き続き取り組んでまいります。

また、採用難が深刻化する中で、いわゆる人的資本経営を推進し、職員が働きがいを感じられる組織風土を醸成し、能力を最大限に発揮できる環境づくりに努めることで、持続的に地域に貢献できる人的基盤を確立してまいります。

地域を取巻く環境が厳しさを増すなか、当金庫の役割は益々重要なものとなりますが、豊かで持続可能な地域社会の実現を図るために、役職員一人ひとりがその持てる力を結集し、遺憾なく発揮していく所存でございますので、皆様には、より一層のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

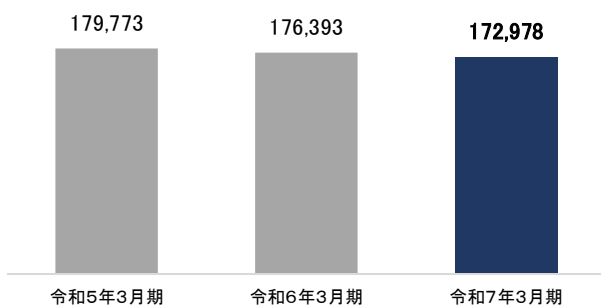
令和7年6月

令和6年度の事業概況

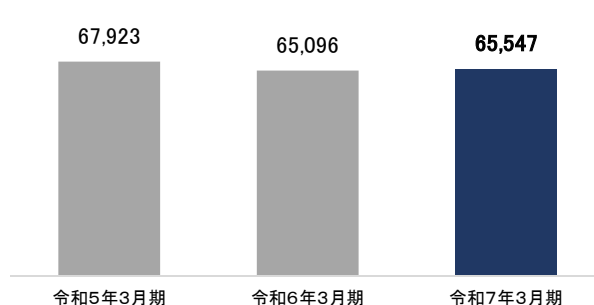
【預金積金・貸出金の状況】

- 預金積金は、個人の要払性預金は増加したものの定期性預金の減少があり、前期比では34億15百万円減少しました。
- 貸出金は、金融機関向けローンの増加があり、前期比4億51百万円増加しました。

預金積金の状況
(百万円)



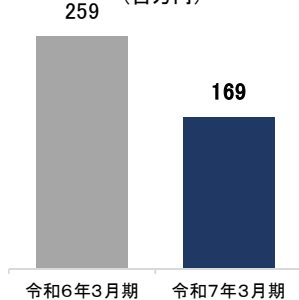
貸出金の状況
(百万円)



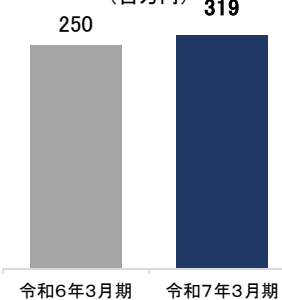
【収益の状況】

- 業務純益は、国債等債券売却益の減少等から、前期比90百万円減の1億69百万円となりました。なお、本来の事業活動の利益を示すコア業務純益については、前期比69百万円増の3億19百万円となりました。
- 経常利益は、与信関連費用が減少した結果、前期比1億8百万円増の2億92百万円、当期純利益は2億80百万円となりました。

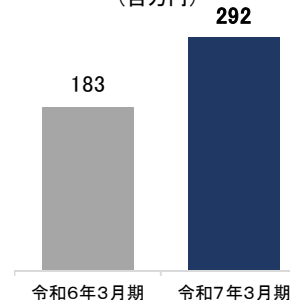
業務純益
(百万円)



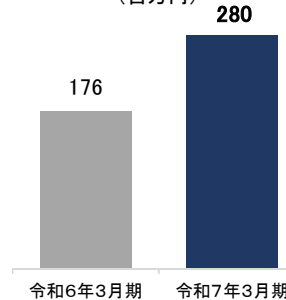
コア業務純益
(百万円)



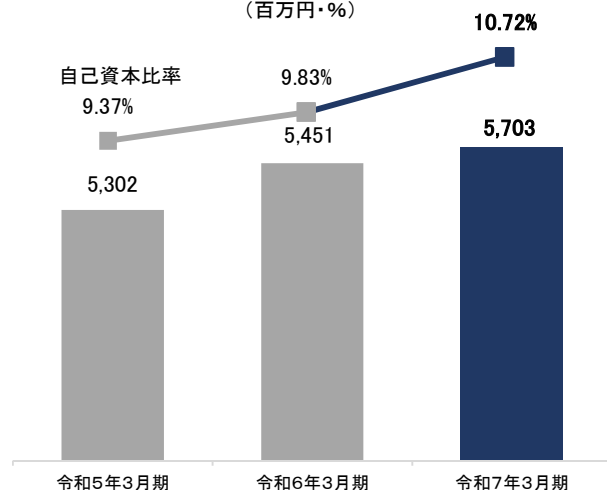
経常利益
(百万円)



当期純利益
(百万円)



自己資本額・自己資本比率の状況
(百万円・%)



【自己資本の状況】

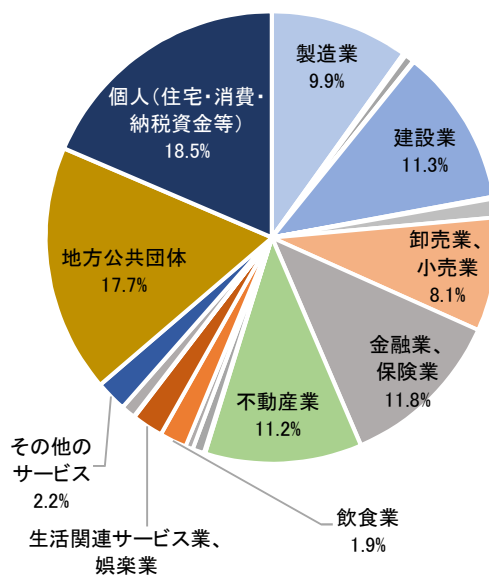
- 自己資本額は、当期利益の積み上げから、前期末比2億51百万円増加の57億3百万円となりました。
- 自己資本比率は、自己資本額の増加により、前期比0.89ポイント上昇の10.72%になりました。国内基準で定められた4.00%を上回る水準を確保しております。

【貸出金業種別内訳】

(単位:百万円)

	令和6年3月期		令和7年3月期	
	残高	構成比	残高	構成比
製造業	6,947	10.67%	6,488	9.90%
農業、林業	156	0.24%	121	0.18%
漁業	467	0.72%	445	0.68%
鉱業、採石業、砂利採取業	35	0.05%	34	0.05%
建設業	7,386	11.35%	7,396	11.28%
電気・ガス・熱供給・水道業	86	0.13%	77	0.12%
情報通信業	-	-	-	-
運輸業、郵便業	902	1.39%	887	1.35%
卸売業、小売業	5,758	8.85%	5,335	8.14%
金融業、保険業	4,762	7.32%	7,763	11.84%
不動産業	7,871	12.09%	7,353	11.22%
物品賃貸業	62	0.10%	55	0.08%
学術研究、専門・技術サービス業	422	0.65%	550	0.84%
宿泊業	378	0.58%	356	0.54%
飲食業	1,509	2.32%	1,264	1.93%
生活関連サービス業、娯楽業	1,641	2.52%	1,464	2.23%
教育、学習支援業	15	0.02%	29	0.04%
医療、福祉	770	1.18%	676	1.03%
その他のサービス	1,784	2.74%	1,461	2.23%
地方公共団体	11,752	18.05%	11,628	17.74%
個人(住宅・消費・納税資金等)	12,383	19.02%	12,156	18.55%
合計	65,096	100.00%	65,547	100.00%

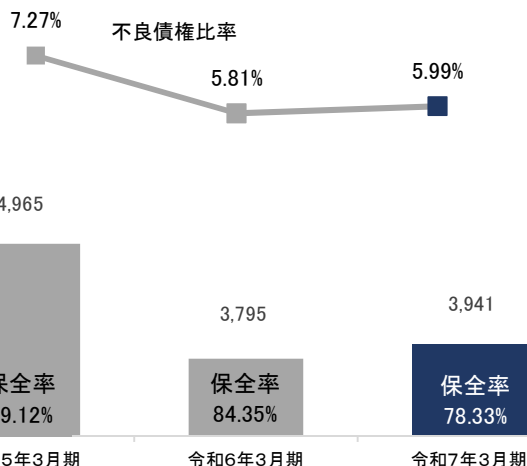
貸出金業種別内訳
(令7年3月期)



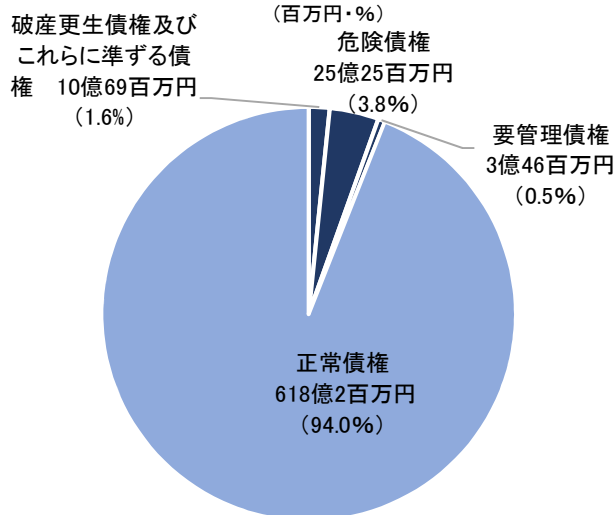
【不良債権の状況】

- 信用金庫法及び金融再生法に基づく不良債権額は、前期比1億46百万円増加の39億41百万円となりました。内訳としては、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」が10億69百万円、「危険債権」が25億25百万円、「要管理債権」が3億46百万円です。
- 不良債権比率は0.18ポイント上昇の5.99%となり、不良債権に対する保全率は78.33%になりました。

不良債権額
(百万円・%)



開示債権の内訳
(百万円・%)



第102期 貸借対照表

(令和7年3月31日現在)

令和 7年4月23日 作成

令和 7年5月29日 備付

住 所

信用金庫名

理 事 長

富山県魚津市双葉町6番5号

にいかわ信用金庫

本多 敏明

科 目	金 額
(資産の部)	百万円
現 金	1,324
預 け 金	77,989
有 価 証 券	28,569
国 債	7,773
地 方 債	1,396
社 債	10,210
株 式	32
そ の 他 の 証 券	9,157
貸 出 金	65,547
割 引 手 形	165
手 形 貸 付	4,979
証 書 貸 付	56,998
当 座 貸 越	3,403
そ の 他 資 産	1,235
未 決 済 為 替 貸	21
信 金 中 金 出 資 金	946
前 払 費 用	0
未 収 収 益	215
そ の 他 の 資 産	50
有 形 固 定 資 産	1,993
建 物	516
土 地	1,405
そ の 他 の 有 形 固 定 資 産	71
無 形 固 定 資 産	47
ソ フ ト ウ ェ ア	18
そ の 他 の 無 形 固 定 資 産	29
前 払 年 金 費 用	183
債 務 保 証 見 返	115
貸 倒 引 当 金	△1,086
(うち個別貸倒引当金)	(△951)
資 産 の 部 合 計	175,921

科 目	金 額
(負債の部)	百万円
預 金 積 金	172,978
当 座 預 金	4,546
普 通 預 金	101,469
貯 蓄 預 金	114
通 知 預 金	-
定 期 預 金	63,323
定 期 積 金	2,383
そ の 他 の 預 金	1,141
そ の 他 負 債	207
未 決 済 為 替 借	35
未 払 費 用	58
給 付 補 填 備 金	0
未 払 法 人 税 等	1
前 受 収 益	14
払 戻 未 済 金	0
払 戻 未 済 持 分	0
資 産 除 去 債 務	1
そ の 他 の 負 債	94
賞 与 引 当 金	27
役 員 退 職 慰 労 引 当 金	39
睡 眠 預 金 払 戻 損 失 引 当 金	14
偶 発 損 失 引 当 金	34
繰 延 税 金 負 債	42
債 務 保 証	115
負 債 の 部 合 計	173,459
(純資産の部)	
出 資 金	502
普 通 出 資 金	502
利 益 剰 余 金	5,238
利 益 準 備 金	503
そ の 他 利 益 剰 余 金	4,735
特 別 積 立 金	4,439
(経営安定化積立金)	(250)
当 期 未 処 分 剰 余 金	295
会 員 勘 定 合 計	5,740
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	△3,278
評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	△3,278
純 資 産 の 部 合 計	2,461
負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	175,921

第102期 損益計算書
(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

令和 7年4月23日 作成
令和 7年5月29日 備付

住 所 富山県魚津市双葉町6番5号
信用金庫名 にかわ信用金庫
理 事 長 本多 敏明

科 目	金 額	
	千円	千円
経 常 収 益		1,898,265
資 金 運 用 収 益	1,540,879	
貸 出 金 利 息	927,741	
預 け 金 利 息	352,191	
有 価 証 券 利 息 配 当 金	239,179	
そ の 他 の 受 入 利 息	21,766	
役 務 取 引 等 収 益	189,775	
受 入 為 替 手 数 料	66,709	
そ の 他 の 役 務 収 益	123,066	
そ の 他 業 務 収 益	7,149	
そ の 他 の 業 務 収 益	7,149	
そ の 他 経 常 収 益	160,460	
貸 倒 引 当 金 戻 入 益	149,927	
償 却 債 権 取 立 益	10,503	
そ の 他 の 経 常 収 益	29	
経 常 費 用		1,606,118
資 金 調 達 費 用	90,874	
預 金 利 息	90,645	
給 付 補 填 備 金 繰 入 額	228	
役 務 取 引 等 費 用	116,264	
支 払 為 替 手 数 料	21,648	
そ の 他 の 役 務 費 用	94,615	
そ の 他 業 務 費 用	150,393	
国 債 等 債 券 売 却 損	143,098	
国 債 等 債 券 償 還 損	6,675	
そ の 他 の 業 務 費 用	620	
経 費	1,218,784	
人 件 費	719,428	
物 件 費	456,434	
税 金	42,921	
そ の 他 経 常 費 用	29,801	
貸 出 金 償 却	4,369	
そ の 他 の 経 常 費 用	25,432	
経 常 利 益		292,146
特 別 利 益		8,925
そ の 他 の 特 別 利 益	8,925	
特 別 損 失		11,059
固 定 資 産 処 分 損	2,981	
減 損 損 失	8,078	
税 引 前 当 期 純 利 益		290,011
法人 税、住 民 税 及 び 事 業 税		1,512
法 人 税 等 調 整 額		8,283
法 人 税 等 合 計		9,796
当 期 純 利 益		280,215
繰 越 金 (当 期 首 残 高)		15,452
当 期 未 処 分 剰 余 金		295,668

【有価証券の時価情報】

- お客様からお預かりした預金は、地域の皆様へ融資しているほか、格付けの高い有価証券(国債、社債等)などリスクを限定した安全な資産で運用しております。
- 日本銀行による政策金利引き上げが年度内2回実施されたこと等から、国内の市場金利が上昇(債券価格は下落)した結果、有価証券の時価は前期比で下落しました。

(単位:百万円)

【その他有価証券】	種 類	令和6年3月期			令和7年3月期		
		貸借対照表計上額	取得原価	差 額	貸借対照表計上額	取得原価	差 額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	株 式	-	-	-	-	-	-
	債 券	316	315	0	18	17	0
	国 債	-	-	-	-	-	-
	地 方 債	-	-	-	-	-	-
	社 債	316	315	0	18	17	0
	そ の 他	200	200	0	-	-	0
小 計	516	515	0	18	17	0	
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	株 式	-	-	-	-	-	-
	債 券	18,229	19,647	△ 1,418	17,166	19,597	△ 2,430
	国 債	8,558	9,825	△ 1,266	7,773	9,823	△ 2,049
	地 方 債	787	814	△ 27	700	758	△ 58
	社 債	8,883	9,008	△ 124	8,692	9,014	△ 322
	そ の 他	8,861	9,755	△ 894	8,357	9,205	△ 848
小 計	27,090	29,403	△ 2,313	25,523	28,802	△ 3,278	
合 計		27,607	29,919	△ 2,312	25,541	28,820	△ 3,278

- (注) 1. 貸借対照表計上額は、期末日における市場価格等に基づいております。
 2. 上記の「その他」は外国証券及び投資信託等です。
 3. 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表には含めておりません。

(単位:百万円)

【満期保有目的の債券】	種 類	令和6年3月期			令和7年3月期		
		貸借対照表計上額	時価	差 額	貸借対照表計上額	時価	差 額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	国 債	-	-	-	-	-	-
	地 方 債	555	564	9	206	206	0
	社 債	-	-	-	-	-	-
	そ の 他	500	500	0	-	-	-
	小 計	1,055	1,064	9	206	206	0
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	国 債	-	-	-	-	-	-
	地 方 債	-	-	-	490	477	△ 12
	社 債	-	-	-	1,500	1,470	△ 30
	そ の 他	800	795	△ 4	800	799	△ 0
	小 計	800	795	△ 4	2,790	2,746	△ 43
合 計		1,855	1,861	5	2,996	2,953	△ 42

- (注) 1. 時価は期末日における市場価格等に基づいております。
 2. 上記の「その他」は外国証券及び投資信託等です。
 3. 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は本表には含めておりません。

第102期 剰余金処分

科目	金額
当期末処分剰余金	295,668,205 円
利益準備金取崩額	477,250 円
計	296,145,455 円
剰余金処分額	260,052,303 円
普通出資に対する配当金(年2%)	10,052,303 円
特別積立金	250,000,000 円
繰越金(当期末残高)	36,093,152 円

第102期 通常総代会決議

令和7年6月13日開催の当金庫第102期通常総代会において、下記のとおり決議されました。

記

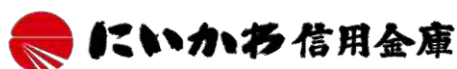
【報告事項】

- 第102期業務報告、貸借対照表および損益計算書の内容報告の件
本件については、業務報告、貸借対照表および損益計算書の内容を報告いたしました。

【決議事項】

- 第1号議案 剰余金処分案承認の件
本件については、原案どおり承認可決されました。
- 第2号議案 会員資格解除に関する件
本件については、原案どおり承認可決されました。
- 第3号議案 理事7名選任の件
本件については、原案どおり承認可決されました。
- 第4号議案 監事3名選任の件
本件については、原案どおり承認可決されました。
- 第5号議案 退任理事に対し退職慰労金贈呈の件
本件については、原案どおり承認可決されました。
- 第6号議案 総代候補者選考委員28名選任の件
本件については、原案どおり承認可決されました。

以上



理事長 本多敏明

常務理事	貫名昭人	常勤監事	七澤久徳
常勤理事	船屋和芳	員外監事	坂井浩
常勤理事	中村悟	監事	小泉昌雄
理事	四十物直之		
理事	大愛高義		
理事	星名照彦		

貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分は、信用金庫法第38条の2第3項の規定に基づき、河村拓栄公認会計士の監査を受け、適法意見の監査報告書を受領しております。

トピックス（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

令和6年

- 4月 ・「魚津しんきろうマラソン」に職員が参加するとともに、ボランティア協力と私設エイド（給水所）での飲料提供を行いました。・・・①
- 5月 ・リコージャパン・エフアンドエム・アシシステム税理士法人・大和ハウス工業と協定を締結し、お客様の課題解決に取組みました。
・「黒部名水マラソン」に職員が参加するとともに、ボランティアとして、関門員等の協力を行いました。・・・②
- 6月 ・「日枝神社春季例大祭（山王まつり）」後に清掃活動を行いました。
・「魚津神社春季例大祭」後に清掃活動を行いました。・・・③
・第101期通常総代会をホテルグランミラージュで開催しました。
・魚津市と地域振興に関する協定を締結しました・・・④
- 7月 ・「14歳の挑戦」で、魚津市内の中学生が信用金庫の仕事を経験しました。・・・⑤
・商工業の祭典「くろべフェア2024」に出店しました。・・・⑥
- 8月 ・じゃんとこい魚津まつり、ユネスコ無形文化遺産「たてもん祭り」にボランティアとして参加しました。・・・⑦
・じゃんとこい魚津まつり「せり込み蝶六踊り街流し」に参加し、スマイル賞を受賞しました。・・・⑧
- 9月 ・黒部市と地域振興に関する協定を締結しました。・・・⑨
- 10月 ・片貝山ノ神紅葉まつりにしんきんカフェを出店。能登半島応援の募金活動を行いました。
・魚津産業フェア「まるまる魚津2024」に出展しました。・・・⑩
- 11月 ・職員の働きやすい職場環境づくりの推進から、「通年ノーネクタイ」での勤務を開始しました。・・・⑪
・輪島市町野町へ災害ボランティアとして職員が参加しました。・・・⑫
・入善西中学校PTAの皆様向けに金融リテラシー講座を開催しました。
・当金庫創立100周年記念行事として、お客さまの「シンガポール旅行」を実施しました。・・・⑬

令和7年

- 1月 ・能登半島復興支援の一助として、被災地の地方公共団体に対する寄附を前提とした信金中央金庫提供「能登半島復興応援定期積金」の取扱いを開始しました。
- 2月 ・新川高校3年生を対象に、「金融リテラシー講座」を行いました。
・入善町社会福祉協議会主催の「子育て家庭のためのライフプランを考える研修会」に職員が講師として参加しました。・・・⑭
- 3月 ・県内7金庫合同の給与振込口座キャンペーン「ラッキー7キャンペーン」と並行して「給与振込キャンペーン2025」を実施しました。
・生地支店が桜井支店の店舗内に移転しました。
・たかしんビジネスチャンス商談会に、当金庫のお取引先企業4社が参加しました。

通年での取組み

- ・金庫役職員やお取引先から募ったタオルや毛布、生活物資などを、ボランティア団体を通じて能登半島の被災地に送りました。
- ・お取引先企業29社のSDGs宣言策定支援を行いました。
- ・フードドライブ活動に取組み、お客さまからご寄付いただいた食品を各地区の社会福祉協議会へ寄贈しました。



1



2



3



4



5



6



9



7



8



10



11



13



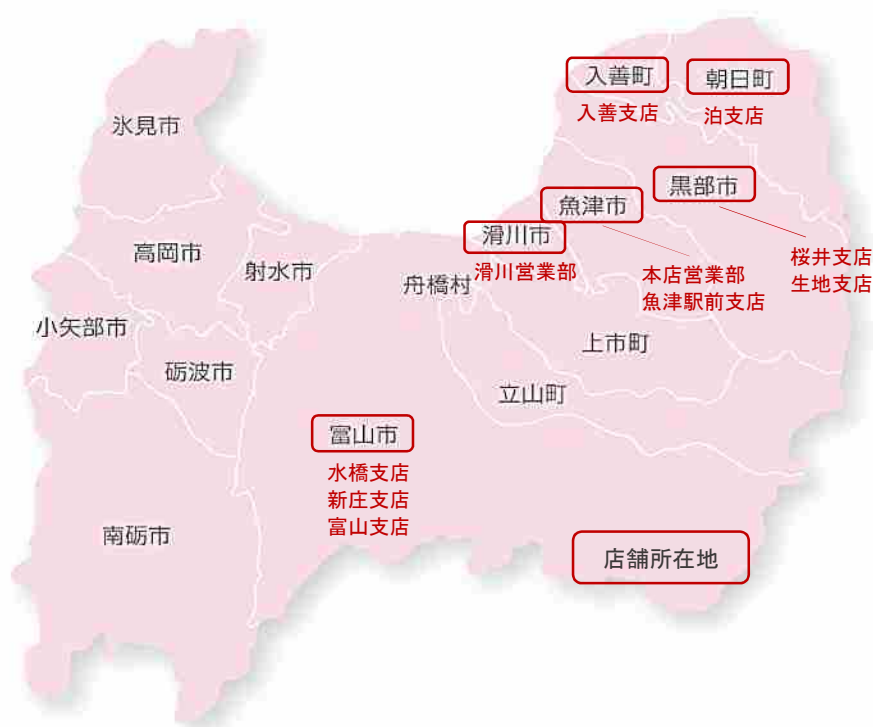
12



14

営業区域と店舗のご案内

■当金庫では、県内全域の活性化を通じた地方創生、さらなるお客様への利便性向上を目的として、営業エリアを富山県全域としております。

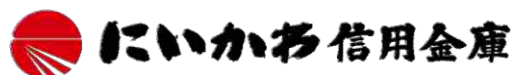


【店舗の案内】

■ 本店営業部	魚津市双葉町6-5	TEL 0765-24-1155
■ 桜井支店	黒部市三日市3146-1	TEL 0765-52-0227
■ 生地支店	黒部市三日市3146-1	TEL 0765-52-0227
■ 入善支店(※1)	下新川郡入善町入膳5444-3	TEL 0765-72-0143
■ 泊支店 (※2)	下新川郡朝日町泊418	TEL 0765-82-0246
■ 魚津駅前支店(※1)	魚津市釈迦堂1-13-11	TEL 0765-23-1211
■ 水橋支店(※1)	富山市水橋辻ヶ堂135-3	TEL 076-478-1151
■ 新庄支店(※1)	富山市向新庄町1-1-2	TEL 076-451-5158
■ 富山支店(※2)	富山市西町7-6	TEL 076-421-2455
■ 滑川営業部	滑川市四間町693-1	TEL 076-475-3121

※1 11:30~12:30の間、窓口営業を休止させていただいております

※2 12:30~13:30の間、窓口営業を休止させていただいております



富山県魚津市双葉町6番5号

TEL. 0765-24-1214(代) FAX. 0765-24-6277

URL <https://www.shinkin.co.jp/niikawa/>